

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科設置の理念・目的の定期的見直しをする。	→研究科委員会および研究科懇談会での理念・目的についての見直しの議題件数。	B	B	B		
2. 研究科の使命および目的について公表し周知する。	→広報媒体(ホームページ、要覧、パンフレット、紀要など)の使命および目的に関するコンテンツの件数。	A	A	A		
3. 研究科の固有性および特色について定期的に検証する。	→ワーキング・グループの設置と検討回数および報告書の作成とその公表の部数。	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	研究科の理念・目的については研究科委員会および大学院諸問題検討委員会において継続的に検討し、ホームページにおいて前期課程・後期課程の基本理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを公開した。
目標2	研究科の理念・目的・使命についてホームページやパンフレット、研究雑誌、紀要を用いて広く学内外に広報した。学部学生には人間福祉研究科進学説明会において大学院入学の勧め、チラシなどを作成し説明した。
目標3	研究科委員会および大学院諸問題検討委員会において引き続き検討を重ね、教育課程の基本理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに反映した。
備考	